

仙北市・東北電力災害協定調印式

11月10日、大曲エンパイヤホテルにて仙北市と東北電力(株)大曲営業所との間で災害協定調印式が行われました。

これは、大規模な地震及び台風・雪害等の発生に伴い、大規模な停電が発生した場合に、仙北市と東北電力が緊密な連携を保ち、住民の生活と安全を確保するために電力設備の迅速かつ円滑な復旧を図ることを目的としています。



防犯活動の更なる充実を目指して

10月20日、西木総合開発センターで防犯研修会が開催され、防犯協会会員など70名余りが出席しました。

始めに表彰伝達式が行われ、地区表彰などを沢山の個人・団体が受賞された他、市防犯協会雲沢支部の林崎寛さんが、全国表彰(栄誉銅章)を受章されました。

表彰伝達式に続いての事例等発表では、銅章を受章された林崎さんの事例発表や、田沢湖交番所長による講話などがありました。

最後に、劇団「あたご一座」によるユーモアたっぷりの講演で、お腹を抱えて笑いながら、犯罪の未然防止の重要性などを再確認しました。



秋の火災予防運動駆け付け訓練

11月2日～8日まで実施された秋の火災予防運動の初日、仙北市各地では火災が発生したと想定し、消防団員による駆け付け訓練が行われました。

早朝で非常に寒い時間帯でしたが、仙北市民の生命・財産を守るため、手際よく作業をしていました。

(日夜訓練を重ねている仙北市消防団のホームページも運営しておりますので、興味がある方はご覧ください。)

http://www.city.semboku.akita.jp/citizens/05_02.html 仙北市ホームページ→市民情報(防災)→消防団



角館北部地域自主防災会防災訓練

11月2日、角館伝建群保存地区で防災訓練が行われました。この訓練は秋の火災予防運動に因んで行われていますが、今回は丁内で組織する角館北部地域自主防災会(会長 高橋誠)で自ら企画し、角館消防署、仙北市、仙北市教育委員会、仙北市消防団、角館伝建群保存地区の町並みを守る会、北部丁内親睦会の協力のもと実施したもので、約100人が参加しました。

奥羽山系を震源とした地震が発生し、角館でも震度6強の揺れがあり、倒壊した建物から火災が発生したという想定のもと訓練が実施されました。火災発生想定の小田野家には、火災通報の合図により一斉に訓練参加者が出動し、迅速かつ的確な消火活動が行われ、また、負傷者の避難誘導訓練と非常時における炊き出しの訓練が裏町会館で行われました。その後、会場を角館樺細工伝承館に移し、AEDを使用した救命救急の訓練も行われました。

この伝建群地区では、昨年10月より県内初の路上禁煙条例の制定をし、観光客等のマナー向上を図っていることもあり、訓練の様子は、道行く観光客の目にも留まり、自主防災会をはじめ地域の防災意識の向上が益々図られた訓練となりました。

